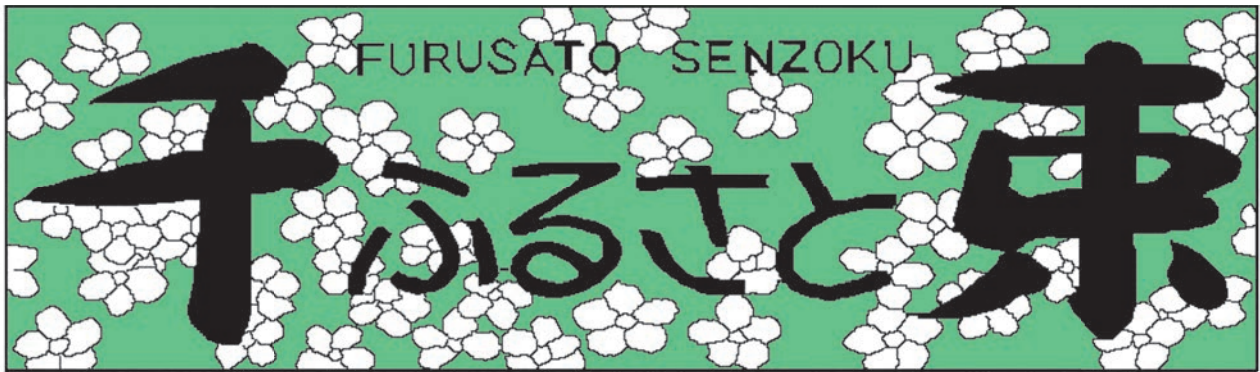




千束地区自治会連合会 発行
地域力推進千束地区委員会

編集長 土屋 光 一
事務局(千束特別出張所内) 電話 3726-4441

新自治会長就任のご挨拶

北千束東自治会

さくらい ひろし
櫻井 汎 会長



南千束東自治会

こあぜ こういち
小畔 光一 会長



地域に拘ったきっ掛け

地域に拘って55年が経ちます。大学4年の昭和44年12月、学校から帰宅すると玄関に白い箱があり、“ん”と思い良く見ると、左上に小さく(消防)と記して有りました。開けると案の定、消防団の団服でした。卒業してからなら未だしも、卒業前に団服はないだろうと思いましたが、家業の米穀販売店を手伝い乍ら大学に通っていたので、家族と相談した結果、今後の事を考えると敢えて断ることはしないと判断しました。その後、正式に東調布消防団員になったのは昭和45年5月末でした。

昭和46年6月初旬第1回少年野球大会に関与し、同47年6月神社青年会発会に関与、同48年6月東調布交通青年団に入団しました。同49年6月青少年対策千束地区委員会委員を拝命したので、今迄以上に責任を感じたのを思い出します。昭和50年5月3日、調布六地区合同子どもガーデンパーティに委員として参加し、子供たちの遊び場作りに協力しました。

27才迄に千束地域の多数の老若男性と知り合いになったので、その後の人生に大きく影響している事に間違い有りません。大きな事業を計画するとなれば多勢の方々の協力が必要になります。今後も地域で頑張っている多くの方々と親しく交流し、地域の活性に少しでも貢献できればと考えています。

昨年5月の林義雄前会長の退任に伴い、南千束東自治会会長職を引き継ぎました、小畔光一です。

私は現住所に75年以上住み続けています。子どもの頃は、近所に同年令の幼なじみが大勢いて、現在よりも交通量のはるかに少なかったので、路上を遊び場として走り回っていました。桜山や洗足池に出かけていたり、東工大(現:東京科学大学)にも遠征して遊んだりしていました。そして赤松小学校、大森第六中学校で楽しい学校生活を送りました。

その様な訳で、千束地区は、私の幼少期の成長を育んでくれた大切な場所でしたので、何か恩返しをしたいと思っていました。18年程前に防犯パトロール隊に参加することになりました。それが自治会活動の初めての経験でした。以来自治会本体の活動にも加わるようになり、班長、副会長などを経て現在に至っています。

南千束東自治会は林前会長のご尽力により様々な活動を行ってきました。

その実績を損なわないように、活動を維持、発展させようと思っています。今後ともよろしく願いいたします。



東京防災学習セミナー



昨年12月7日（土）の午後、赤松小学校の体育館において、千束地区自治会連合会主催の「東京防災学習セミナー」が開催されました（参加者72名）。

今回は、岡橋かおり地域防災アドバイザーの「首都直下地震への地域の備え」について講演と質疑がありました。

講演はテキスト使用だけでなくスクリーンに拡大投影された映像も多用した講師の滑らかな説明で、参加者との質疑も順調に進行し、90分が短く感じられました。

講演の概要は、以下のとおりです。



▶首都直下地震とはなにか

過去何度も起きていた海溝型地震（M8クラス）

関東大震災（M7.3）級の首都直下地震 **今後30年以内発生確率は70%！**

▶『命』と『くらし』を守る

命を落とす原因は二つ ⇒ **① 直接死** **② 災害関連死**

阪神・淡路大震災（1995年）は、**① ⇒85.9%**、**② ⇒14.1%**

熊本地震（2016年）は、**① ⇒18.5%**、**② ⇒81.5%**



▶お困り事への対応、事例紹介

まとめ

- ① 首都直下地震はいつ起こるかわからない。
- ② いつ来てもよいように、十分準備し、訓練する。
- ③ 地域の仲間と歩調を合わせ、防災活動を進める。



参加した方々からはこんな声がきかれました



平素の備えが大切！

ということで、こんな行政サイトもあります。活用してみましょう！

大田区防災ポータル



東京備蓄ナビ



また、日頃から地域とのつながりを持っておくと、有事の際、大きな助けとなります。

千束地区自治会連合会では、**自治会・町会への新規加入**で**防災サコッシュセットをプレゼント**しています！（1世帯につき1個）ぜひお気軽にご参加ください！

千束地区自治会連合会についてはコチラ



自治会・町会の加入申込みはコチラ



受章おめでとうございます！

令和6年秋の叙勲受章者、青木輝代様をご紹介します。

青木様は昨年6月まで、北千束東自治会会長を20年務められ、その間に千束地区自治会連合会会長を8年8カ月務められました。

また、民生委員・児童委員を18年務められ、その他にも大田区社会福祉協議会理事や赤十字協賛委員大田地区協議会委員他、数々の役を担われてきました。

長年にわたり地域づくりを支え、行政から委嘱された業務に精励されるなど、地域総合功労として顕著な功績を挙げられたことが認められ「きよくじつたんこうしょう旭日単光章」を授与されました。



伝達式当日の青木様



青木様が授与された勲章

令和6年11月5日に東京都庁にて小池都知事から勲章が伝達され、令和6年11月13日に皇居にて天皇陛下に拝謁されました。

青木様から受章のお喜びの言葉をいただきました

「長い間地域の皆様に支えられ、ここまで来ることができました。今回の受章に際して、ますますその思いが強くなりました。皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。」

ふるさと千束
バックナンバー
大田区ホームページで
公開中です。



千束地区管内の数字	人 口	男	11,782人
		女	13,363人
		計	25,145人
世帯			14,299世帯

令和7年4月1日現在

●お詫びと訂正

令和6年11月3日発行第69号の3ページに掲載の「和太鼓交流演奏会を開催しました！」の記事において東京工業大学（現 **東京科学大学**）とすべきところを、（現 東京理科大学）と記載してしまいました。訂正してお詫びいたします。申し訳ございませんでした。

私たちのまち大岡山駅前にキャンパスのある東京工業大学は、令和6年10月に、東京医科歯科大学と統合して東京科学大学となりました。

編集 後記

地域の方々のご協力により「ふるさと千束」は今回第70号を発行することができました。平成2年（1990年）11月、創刊号はB5版の4ページの白黒印刷でした。創刊にあたり千束地区自治会連合会の櫻井会長は、「ふるさと千束」がみなさんの情報交換に役立ち、地域の必需品として定着してほしいと書かれています。

それから35年、年2回の発行は続き、紙面は時代によってA4版のカラー印刷になり、大きな文字の横書きへと変わってきました。

今はパソコン・スマホからすぐに情報がもらえる時代ですが、手作りの温かみのある紙の情報紙を手にとって楽しんでいただけたら嬉しいです。

F・I 記